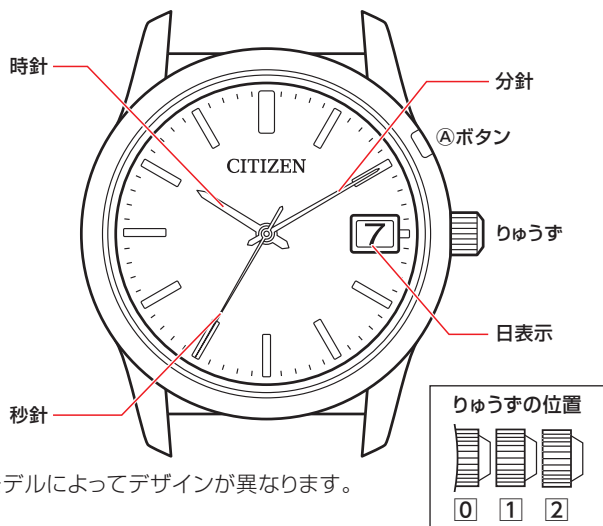


E51*/E71*/E76* 簡易操作ガイド

・この時計はソーラーパワーウォッチです。文字板を光に当てて、十分に充電された状態でお使いください。

各部の名称



・モデルによってデザインが異なります。

時刻を合わせる

1. りゅうずの位置を②にする

・秒針が、0秒を指します。

2. りゅうずを回して、時刻を合わせる

りゅうずを素早く回転させると、分針が連続回転します。りゅうずを少し回すと止まります。

- ・分針に連動して時針が動きます。
- ・日表示が切り替わったときが午前0時です。午前午後を間違えないよう注意します。

3. 時報に合わせて、りゅうずの位置を①にする

秒針が動き始めます。

カレンダーを合わせる

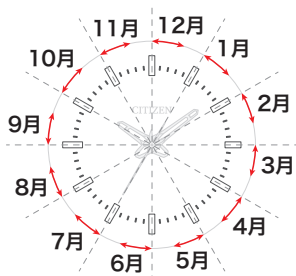
この時計のカレンダーは、うるう年を含む2100年2月28日まで、修正不要です。(パーベチュアルカレンダー)

1. りゅうずの位置を①にする

秒針が動き、「年」と「月」を表示します。

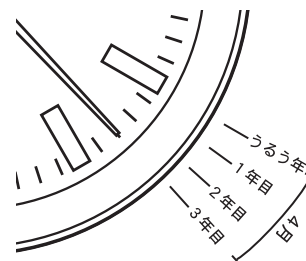
2. りゅうずを右に回して、「月」と「年」を合わせる

・月は、時刻の「時」の範囲で示されます。



- ・年は、うるう年からの経過年数で表示され、各月の範囲内での秒針の位置で示されます。
- ・うるう年からの経過年については、サポートの「仕様・機能・購入」から、うるう年経過年早見表をご参照ください。
<http://citizen.jp/cs/guide/index.html>

(例) 2015年4月に合わせるときは
4月→4時の範囲
2015年→うるう年から3年目



- ・りゅうずを素早く回転させると、秒針が連続して動きます。りゅうずを少し回すと止まります。

3. りゅうずを左に回して、日表示を合わせる

連続回転すると、日表示を連続で送ることができます。りゅうずを1回転させると止まります。

- ・存在しない日(例えば2月30日)に合わせて、操作終了後、翌月の1日に日表示が切り替わります。

4. りゅうずの位置を①にする

現在の時刻に戻ります。

時差修正を行う

1時間単位での時差修正ができます。

1. りゅうずの位置を①にする

2. Aボタンを押す

秒針が1周します。

3. りゅうずを回して、時差を修正する

りゅうずを右に回すとプラスの時差修正、左に回すとマイナスの時差修正となります。

りゅうずを素早く回転させると、時針が連続回転します。

- ・時差を元に戻す場合は、修正した方向と反対方向に時針を回してください。

- ・充電が不足していると、時差修正はできません。
- ・修正操作終了後、30秒経過すると修正状態を終了します。

オールリセットと基準位置修正を行う

1. リューズの位置を②にする

時計が記憶している0位置に秒針が移動し停止します。

2. ④ボタンを2秒間以上押して離す

時分針と時針が、デモ運針(正転→逆転→正転)を行います。
秒針が1回転し、オールリセットが完了します。

3. リューズを回して、時針と分針を12時位置に合わせる

- ・リューズを素早く回転させると、時針と分針が連続回転します。
リューズを少し回すと止まります。

4. リューズの位置を①にする

5. リューズを右に回して、秒針を0秒位置に合わせる

- ・リューズを右に素早く回転させると、秒針が連続回転します。
リューズを少し回すと止まります。

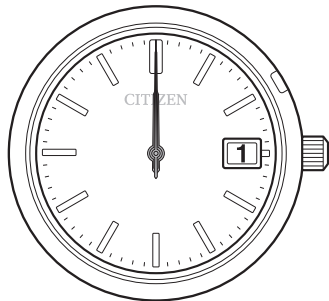
6. リューズを左に回して、日表示を1日に合わせる

- ・リューズを左に素早く回転させると、日表示が連続回転します。
リューズを少し回すと止まります。

正しい基準位置：

すべての針が12時位置

日表示が「1」



7. リューズの位置を③にする

- ・約1秒後に基準位置が記憶されると、秒針が変則2秒運針を始めます。「時刻合わせる」と「カレンダーを合わせる」を参照して、時刻・日表示を正しく合わせてください。
- ・基準位置後は午前0時になります。午前午後を間違えないよう注意します。